

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	英語演習 1	担当教員	亀山太一			
学年学科	専攻科 2 年 Y 専攻	前期	選択	1 単位(学修)		
学習・教育目標	(C-2) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (f)			
授業の目標と期待される効果： これまでに身につけた英語の技能（特にリーディング及びリスニング能力）をさらに向上させながら、技術者に必要な総合的な英語力を養う。また、これらのスキルの土台となる基本的な文法事項を体系的に復習し、TOEIC 形式の問題を通して理解の定着を図る。具体的には以下の項目を目標とする。 ①より広範な語彙力を身につける ②より正確な文法知識を身につける ③英文（音声・文字）の概要把握ができる ④英文を直読直解で正確に理解できる		成績評価の方法： 期末試験 100 点＋平常試験 100 点（換算）とし、総得点率（％）によって成績評価を行なう。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 授業中に指定された課題をこなして、決められた点数に達していること。定期試験においては、授業課題によって以下に示す英語のスキルが身に付いたかどうかを判定する。①～④は成績評価の重みは均等である。 ① 課題指定された範囲の 60%の語彙力がある。 ② 課題指定された範囲の 60%の文法知識がある。 ③ 課題指定された範囲の英語を 60%以上聞き取ることができる。 ④ 課題指定された範囲の英文を 60%以上読み取ることができる。				
授業の進め方とアドバイス： TOEIC 形式およびその他の問題演習を行うことで、語彙及び文法の復習を行い、英語運用に必要な基礎的な知識と理解を深めるとともに、E ラーニング教材(ALC NetAcademy NEXT)による演習を通してリスニングおよびリーディングの力ならびに文法力を高める。						
教科書および参考書： 15-DAY PROGRAM FOR THE TOEIC TEST (三修社)						
授業の概要と予定：前期			教室外学修		AL のレベル	
第 1 回：動詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 2 回：品詞と文型			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 3 回：受動態			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 4 回：時制			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 5 回：準動詞（1）動名詞と不定詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 6 回：準動詞（2）分詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 7 回：Review (1)			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 8 回：前置詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 9 回：関係詞・接続詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 10 回：助動詞と仮定法			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 11 回：比較と TOEIC 頻出の形容詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 12 回：TOEIC 頻出の名詞表現・代名詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 13 回：副詞・その関連構文と TOEIC 特有の動詞			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
第 14 回：Review (2) ・模擬問題			その日に扱った単元のテキストの問題演習		B	
期末試験						
第 15 回：授業の総まとめ（期末試験解答解説など）						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	課題指定された範囲の語彙力測定問題において80%以上正解する。	課題指定された範囲の語彙力測定問題において60%以上正解する。	課題指定された範囲の語彙力測定問題において正解率が60%未満である。
②	課題指定された範囲の文法力測定問題において80%以上正解する。	課題指定された範囲の文法力測定問題において60%以上正解する。	課題指定された範囲の文法力測定問題において正解率が60%未満である。
③	課題指定された範囲の英語聴き取り問題において80%以上正解する。	課題指定された範囲の英語聴き取り問題において60%以上正解する。	課題指定された範囲の英語聴き取り問題において正解率が60%未満である。
④	課題指定された範囲の読解力測定問題において80%以上正解する。	課題指定された範囲の読解力測定問題において60%以上正解する。	課題指定された範囲の読解力測定問題において正解率が60%未満である。